

国立公文書館節電実行計画実施報告

平成23年11月7日

国立公文書館

国立公文書館は、政府の節電実行計画に係る基本方針（平成23年5月13日電力需給緊急対策本部決定）に基づき、具体的な節電対策に関する計画を定め、実施してきたところ。節電実施期間が終了したことから、その実施結果を報告する。

1 節電実行計画実施期間

平成23年7月1日から9月30日の間。

2 節電対象施設

下表に掲げる施設を本計画の対象施設とした。

なお、民間ビルに入居しているアジア歴史資料センターについては、ビル管理会社と協力し、節電対策に取り組んだ。

3 目標数値の達成状況

昨年度の最大使用電力値を基準として本計画で設定した目標値（本館246kW、つくば分館270kW）に対して、計画期間中の最大使用電力は、本館230kW（基準電力値の20.4%減）、つくば分館251kW（同21.1%減）であり、いずれも目標を上回る成果を挙げた（下表参照）。

国立公文書館施設及び実績一覧

施設名	基準電力値	目標値 (使用電力上限値)	実績値 (最大使用電力)	削減率 (対基準電力値)
国立公文書館本館	289kW	246kW	230kW	▲20.4%
国立公文書館つくば分館	318kW	270kW	251kW	▲21.1%

(参考) 国立公文書館節電実行計画（平成23年6月30日公表）は、別添のとおり。